

令和5年度 朝日町予算説明書



山形県朝日町

～ 目 次 ～

◎令和5年度 一般会計予算の概要	2
◎主な新規・重点施策（一般会計）.....	3
◎ // （病院事業会計・水道事業会計、集落排水事業特別会計）	10
◎基本目標別主要施策・予算	11
1. 技・モノ・心が受け継がれ、人が集まるまち（産業経済）	12
(1) 農業 (2) 仕事の確保（商工業） (3) 交流・観光	
2. ふるさとを愛し、みんなが学び合い、育て合うまち（教育文化）	14
(1) 子育て (2) 学校教育 (3) 生涯学習（スポーツ・文化）	
3. いつまでも健康に暮らせる、思いやりあふれるまち（健康福祉）	16
(1) 健康増進 (2) 医療・福祉	
4. 豊かな自然を守り、安全で快適な住みよいまち（生活環境）	18
(1) 住まい (2) 交通 (3) 環境 (4) 防災	
5. 地域を思う一人ひとりがつながり、みんなで支え合うまち（地域づくり）	20
(1) 地区づくり活動 (2) まちのにぎわい・元気づくり	
◆ 町民と行政が相互に信頼できるまち（まちの経営方針）	22
(1) 町民と行政の協働 (2) 行財政経営 (3) 高度情報化・広聴	
◎予算・決算等資料	25

令和 5 年度 一般会計予算の概要

◎予算規模

56億 9,000万円

(令和 4 年度当初 56 億 3,000 万円、 比較増減 6,000 万円、 1.1 %増)

【第 6 次朝日町総合発展計画を推進する 5 本の柱とまちの経営方針】

政策経費予算額
※() は前年度

1 技・モノ・心が受け継がれ、人が集まるまち【産業経済】

3 億 5,695 万円
(3 億 1,604 万円)

(1) 農業 (2) 仕事の確保(商工業) (3) 交流・観光

2 ふるさとを愛し、みんなが学び合い、育て合うまち【教育文化】

5 億 6,455 万円
(6 億 3,189 万円)

(1) 子育て (2) 学校教育 (3) 生涯学習(スポーツ・文化)

3 いつまでも健康に暮らせる、思いやりあふれるまち【健康福祉】

9 億 3,834 万円
(9 億 3,649 万円)

(1) 健康増進 (2) 医療・福祉

4 豊かな自然を守り、安全で快適な住みよいまち【生活環境】

5 億 8,276 万円
(7 億 7,824 万円)

(1) 住まい (2) 交通 (3) 環境 (4) 防災

5 地域を思う一人ひとりがつながり、みんなで支え合うまち【地域づくり】

7,555 万円
(4,870 万円)

(1) 地区づくり活動 (2) まちのにぎわい・元気づくり

◆ 町民と行政が相互に信頼できるまち【まちの経営方針】

5 億 1,471 万円
(3 億 969 万円)

(1) 町民と行政の協働 (2) 行財政経営 (3) 高度情報化・広聴

令和 5 年度 主な新規・重点施策

令和 5 年度の新規・重点施策の中から、
一般会計 15 事業、特別会計・企業会計 3 事業を紹介します。

財源についての説明

一 般 財 源……使途が限定されていない町の自由な財源です。

国・県補助金……特定の事業のため、国や県から交付されるお金です。

基 金……使い道ごとに積み立てている町の貯金からの取崩金です。

例：町有施設整備・管理基金（公共施設の整備、改修のために積立てた基金）

日本一りんごのふるさとづくり基金（ふるさと納税を財源にした基金）

町の借金(町債)……主に建設事業のため、国や民間の金融機関等から借入するお金です。

償還金(返済金)の一部が地方交付税に算入される制度を活用しています。

例：過疎対策事業債（過疎債） 償還金の 70%

辺地対策事業債（辺地債） 償還金の 80%

緊急防災・減債事業債 償還金の 70%

災害復旧事業債 償還金の 95%（※補助事業の場合）

役場庁舎長寿命化改修事業

2億 1,200 万円

財源…町の借金 6,000 万円（脱炭素化推進事業債 1,500 万円、緊急防災・減災事業債 4,500 万円）、町の負担 1 億 5,200 万円（町有施設整備・管理基金）

今後さらに 20 年使用するための長寿命化・省エネ改修を実施



【事業の概要】

昭和 46 年の竣工から 50 年が経過した役場庁舎・開発センターについて、今後さらに約 20 年使用することを想定し改修します。空調、電気等設備面を中心とした省エネ改修、そしてレイアウト変更により、町民の皆さんの利便性と職員の業務効率の向上を図ります。

工事については、昨年度にまとめた設計に基づき、今年度から 2 カ年計画で行います。期間中はご不便をおかけする時期もありますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

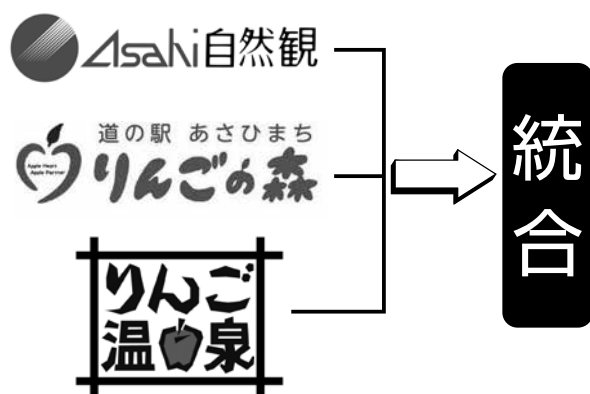
（担当：総務課 財務係）

観光交流 3 施設運営会社統合事業

980 万円

財源…国の補助金 490 万円、町の負担 490 万円（一般財源）

Asahi 自然観、道の駅あさひまち、りんご温泉の運営会社を統合



【事業の概要】

町観光の中核施設「Asahi 自然観」「道の駅あさひまち」「りんご温泉」については、現在、「株式会社朝日自然観」「株式会社りんごの森」「有限会社地球耕望」がそれぞれ運営しているところですが、昨年度、町は観光事業の強化・再構築のため、これらの運営会社を統合する方針を固めました。

令和 7 年 4 月の統合に向け、業務は 5 年度から 2 か年事業で実施。今後のまちづくりを左右する重要な事業であることから、スムーズな移行に向け手続きを進めます。

（担当：総合産業課 商工観光係）

自然観コテージリニューアル基本構想策定事業 330万円

財源…町の負担 330 万円（町有施設整備・管理基金）

昨今のトレンドや独自性、管理の効率性を考慮し、リニューアル



【事業の概要】

Asahi 自然観については平成元年のオープンから 30 年以上が経過し、老朽化が進んでいます。町は昨年度、ホテルについては令和 6 年度いっぱいまで営業を終了し、宿泊機能をコテージに集約することとしました。

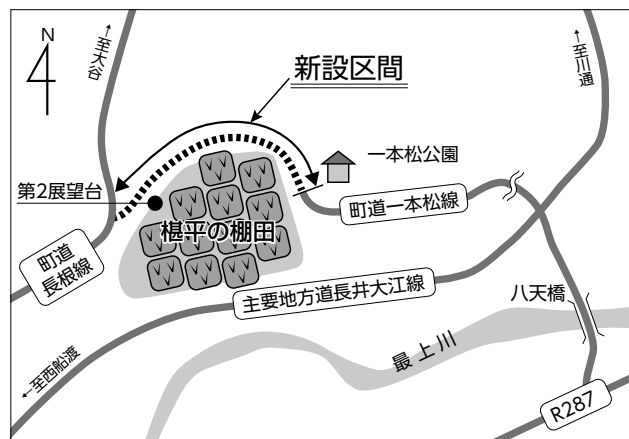
コテージについては今後、昨今のトレンドや Asahi 自然観ならではの独自性、さらには管理の効率性等を考慮した上でリニューアルを計画。令和 5 年度については、そのための基本構想を策定します。

（担当：総合産業課 商工観光係）

町道一本松線新設事業 2,900万円

財源…国の補助金 1,350 万円、町の借金 1,550 万円（過疎債）

足掛け 14 年、総事業費約 4 億 5,000 万円の事業が完了



【事業の概要】

主要地方道長井大江線から能中地区の一本松公園に至る町道一本松線については、同公園側で袋小路となっていたため、町は平成 22 年度から町道長根線へ接続させるための工事を実施してきました。

今般、工事が令和 5 年度をもって完了する見通しとなりました。足掛け年数は 14 年で、総事業費は今年度分を含めると、約 4 億 5,000 万円。今後は観光面および防災面で活用が期待されます。

（担当：建設水道課 整備係）

小中学校給食費完全無償化事業

2,335 万円

財源…町の負担 2,335 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金 1,960 万円、一般財源 375 万円）

小中学校の給食費を無償化。中学校のごはんも給食として提供



【事業の概要】

教育にかかる負担軽減策として、今年度から小中学校の給食費を無償化します。中学校については、これまで自宅から持参していたごはんも給食として提供することとし、学校給食費完全無償化を実現します。

※中学校のごはん給食については、準備の関係もあり、2学期からの開始を予定しています。ご了承ください。

（担当：教育文化課 学校教育係）

すこやかあさひっこ祝品／祝金事業 370 万円

財源…県の補助金 29 万円、町の負担 341 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）

新生児 1 人につき、3 万円分の祝品と 7 万円の祝金を進呈



【事業の概要】

出産時の負担軽減を目的に、新生児 1 人につき 7 万円を給付する「出産支援給付金」については県事業として令和 3 年度に創設されたものです。今年度から県の補助が打ち切りとなりましたが、町は一般財源で継続することとし、名称を「すこやかあさひっこ祝金」へ改称します。

また、3 万円分の子育て用品を進呈する従来の「出産祝品」についても、名称を「すこやかあさひっこ祝品」と改めながら継続し、「すこやかあさひっこ」の 2 事業合計で 10 万円相当の給付事業を継続します。

（担当：健康福祉課 子育て支援係）

あさひ保育園未満児室増築事業

7,000 万円

財源…町の借金 7,000 万円（過疎債）



【事業の概要】

近年、あさひ保育園の3歳未満児保育希望者が著しく増加し、保育スペースが手狭になっていることを受け、3歳未満児室を増築します。

面積は約 100㎡（30 坪）程度を予定。既存部分と同様に床暖房を備え、保育環境を整えます。

（担当：健康福祉課 子育て支援係）

はばたくあさひ応援金事業

500 万円

財源…町の負担 500 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）



【事業の概要】

子育てにかかる負担軽減の取組みとして、今年度から新たに「はばたくあさひ応援金」を創設します。

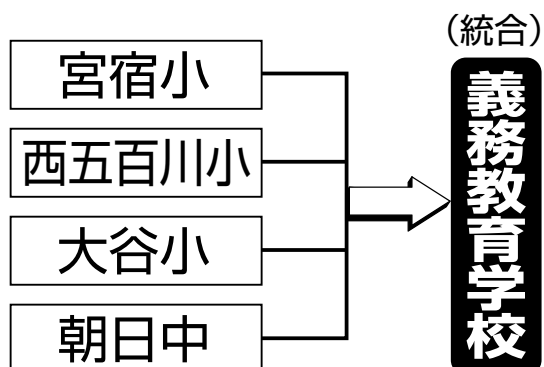
高校等進学にあたり、未来にはばたく子どもたちを支援するもので、一人あたり 10 万円を給付します。

（担当：健康福祉課 子育て支援係）

小中学校統合・義務教育学校設置に向けた取り組み

873 万円

財源…町の負担 873 万円（一般財源）



【事業の概要】

町は昨年度、3小学校と中学校を統合し、新しい義務教育学校を創設する方針を固めました。この実現に向け、令和5年度から本業務にあたる専任の指導主事を教育委員会に配置します。

令和10年4月の開校を目指し、今後ソフト、ハード両面から準備を進めます。

（担当：教育文化課 学校教育係）

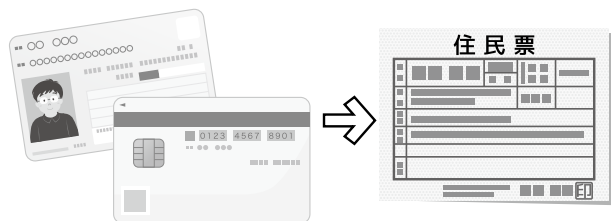
マイナンバーカードを活用した戸籍・住民票・税等証明書等交付事業 40 万円

財源…町の負担 40 万円（一般財源）

【事業の概要】

マイナンバーカードを使って、自宅から各種証明書等を申請できる仕組みを整えます。手数料はクレジットカードや電子マネー等によるキャッシュレス決済を予定。申請した書類は後日郵送で受け取ります。

（担当：税務町民課 住民生活係）



防犯カメラ設置事業

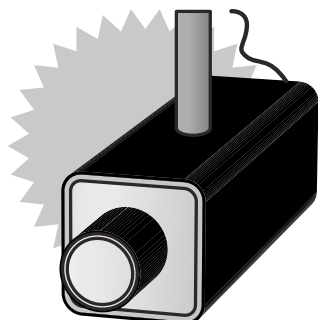
150 万円

財源…町の負担 150 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）

【事業の概要】

災害警戒時の降雨観測、交通安全、犯罪抑止・秩序保持、等を目的に設置します。設置箇所は栗木沢の国道 287 号、町道大谷真中線交差点で、役場から 24 時間リアルタイムで監視できる体制を整えます。令和 6 年度以降中部、西部にも 1 基ずつ設置する予定です。

（担当：総務課 危機管理環境係）



大谷区まちづくり推進員配置事業

936 万円

財源…町の負担 936 万円（一般財源）

【事業の概要】

地域課題の解決、伝統・文化の伝承等を目的として、新たに「まちづくり推進員」を 2 人委嘱し、大谷地区に配置します。財源は、活動費の全額を国が負担する総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用。地域住民同士、町外者とのつながりを新たに生み出し地域活性化を図ることや、地域課題の解決に向け住民が協力し助け合う取り組みを支援します。（担当：政策推進課 地域振興係）



消防団員処遇改善事業

400万円

財源…町の負担 400 万円（一般財源）



【事業の概要】

消防団員報酬、出動手当を増額し、処遇を改善します。

消防団員報酬 【R4】 @16,500 円→【R5】 @36,500 円

出動手当(4H まで)【R4】 @2,700 円→【R5】 @4,000 円

出動手当(4H 以上)【R4】 @5,400 円→【R5】 @8,000 円

(担当：総務課 危機管理環境係)

りんご産地活性化事業

752万円

財源…町の負担 752 万円（一般財源）



【事業の概要】

喫緊の課題となっている農業の担い手確保に向け、町は昨年度、「あさひりんごの郷協議会」を立ち上げ、「りんご産地活性化事業」に着手しました。

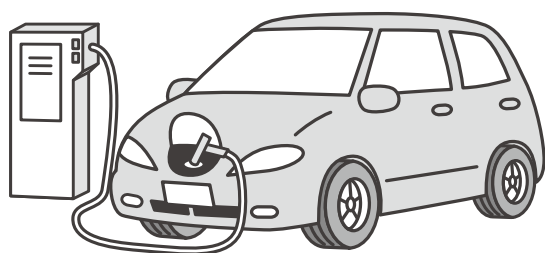
事業期間は6年度までの3年間で、今後は新規就農者の全国公募や第3者への農地承継等を強化しながら、朝日町のりんご産地とブランドの維持に努めます。

(担当：農林振興課 農政係)

電気自動車購入補助事業

50万円

財源…町の負担 50 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）



【事業の概要】

脱炭素化社会の推進を目的に、町民の皆さんの電気自動車購入を補助金で支援します。

対象は個人のみで、企業、事業所は対象外。金額は1台あたり5万円とします。

(担当：総務課 危機管理環境係)

病院事業会計

町立病院内施設整備事業

7,250 万円

財源…病院の借金（過疎債・病院債）7,240 万円、町の負担 5 万円、病院の負担 5 万円



【事業の概要】

町立病院の病棟は昭和 60、61 年、診療棟は平成 9、10 年の竣工で、計画的に保守改修を行っています。令和 5 年度については、病棟、給食棟の外壁改修工事、病棟の空調設備更新工事を実施し施設の長寿命化を図ります。

（担当：町立病院 医事庶務係）

水道事業会計

水道管の耐震化・長寿命化

1 億円

財源…町（水道事業会計）の負担 1 億円



写真はイメージです。

【事業の概要】

平成 26 年度に策定した「水道事業アセットマネジメント（資産管理）」に基づき、計画的に水道施設の更新を行っています。令和 5 年度は、橋梁への水道管布設替（添架）工事を行います。

- ・道陸橋添架管布設工 8,000 万円
- ・要害橋添架管布設工 2,000 万円

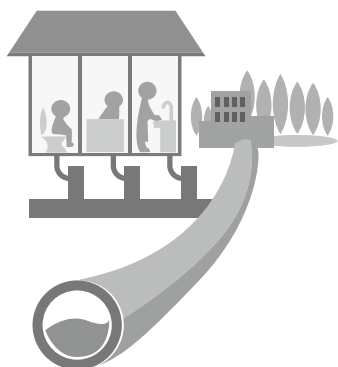
（担当：建設水道課 上下水道係）

集落排水事業特別会計

公営企業会計適用事業

1,200 万円

財源…町（集落排水事業会計）の借金 1,200 万円（公営企業会計適用事業債）



【事業の概要】

資産を含む経営状況を比較可能な形で的確に把握し、財務マネジメントの向上させるため、令和 4 年度から 2 か年事業で公営企業会計の適用を進めています。

事業費は 2 か年で 2,700 万円を予定。国の要請に従い、令和 5 年度中に完了させます。

（担当：建設水道課 上下水道係）

令和 5 年度

基本目標別主要施策・予算

令和 5 年度の主な施策・予算を、第 6 次朝日町総合発展計画で掲げる 5 つの基本目標と、それを実現させるための「まちの経営方針」に沿って紹介いたします。



まち【産業経済】

総額 3億5,695万円

(1) 農業

(単位：万円)

◇朝日町ブランドの代表である高品質なりんごづくりを続ける		
高品質りんご生産緊急対策補助		175
りんご輸出拡大対策補助		300
りんご産地活性化事業	新規	752
◇多様な果樹のまちとしての魅力を発信する		
チャレンジファーマー応援事業		150
ワイン用ぶどう栽培支援事業		30
◇低コストで多様な農産品づくりを展開する		
施設園芸用ハウス等整備補助		100
◇安心して農業を続けていける人づくりを進める		
農業次世代人材投資事業		600
新規就農者育成総合対策（経営開始資金）		900
認定農業者農機具等支援事業		250
スマート農業化支援事業		135
◇将来性ある生産体制のための環境を整備する		
有害鳥獣対策		272
中郷地区ため池改修工事負担金		187
農道や用水路の整備等に対する補助		460

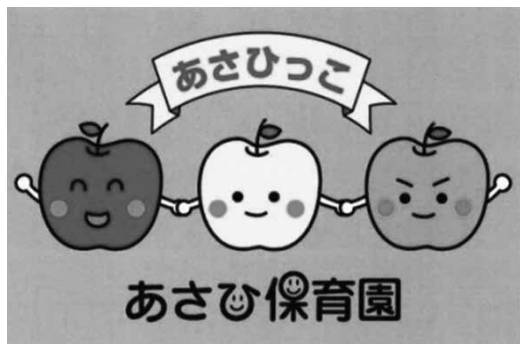
(2) 仕事の確保（商工業）

◇今ある企業や事業所のものづくりを応援する		
町民の働く場を確保するための取組み（産業立地促進奨励金ほか）		946
◇今ある商店等の活性化を促す		
商工会指導事業、商店街活性化補助（商店街魅力創出チャレンジ事業ほか）		700
◇やりたい仕事を始められる環境を整える		
創業支援対策		402

(3) 交流・観光

◇既存観光資源を整備し、活用を促進する		
Asahi 自然観、道の駅あさひまち、りんご温泉の管理運営		6,843
観光交流3施設運営会社の統合	新規	980
観光振興計画の改訂	新規	450
Asahi 自然観コテージリニューアル基本構想策定	新規	330
◇既存団体との連携による観光振興		
町観光協会の運営		1,425
空神社ライトアップ事業	増額	640
◇広域連携により交流・観光の拡充とインバウンド推進につなげる		
インバウンド推進事業	増額	1,617

2. ふるさとを愛し、みんなが学び合い、



あさひ保育園通園車両更新事業 1,030 万円

財源…町の借金 1,030 万円（過疎債）

あさひ保育園の2台ある通園バスのうち1台を更新します（黄色バス）。デザインについては、従来のテレビアニメキャラクターによる全面ラッピングではなく、無地の車体にあさひ保育園オリジナルのマーク（＝左）を配置する予定です。

（担当：健康福祉課 子育て支援係）



秋葉山交遊館高圧受変電設備更新事業 1,600 万円

財源…町の借金 1,600 万円（緊急防災・減災事業債）

秋葉山交遊館の高圧受変電設備を更新します。工事にあたっては、災害時に避難所として活用することを想定し、全室非常用電源対応に改修します。

（担当：教育文化課 北部公民館）



朝日町コミュニティスクールの推進 461 万円

財源…県の補助金 229 万円、町の負担 232 万円（一般財源）

家庭・地域・学校が協働し、きらりと光る学校・地域を作る「コミュニティスクール事業」推進のため、地域活動推進員を配置します。本事業の推進に特化した人員2名体制で小学校3校、中学校1校をカバーし、地域の素材を活用した探求型学習のさらなる深化を図ります。

（担当：教育文化課 学校教育係）



ミズノ株式会社との連携によるまちづくり推進事業 578 万円

財源…町の負担 578 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）

ミズノ株式会社との提携事業については、昨年度から「歩くことによる健康づくり」を目指し、「ウォーキング普及事業」に着手しています。子どもたちの体力、競技力向上や、プロアスリートとの交流を通じたスポーツの振興事業等も継続。引き続き多方面で事業を展開していきます。

（担当：政策推進課 広報ブランド係）

育て合うまち【教育文化】 総額 5億6,455万円

(1) 子育て

(単位：万円)

◇出産・子育てに携わる人の健康を確保し、不安・負担を軽減する		
高校生以下の医療費完全無料化		2,091
妊婦健康診査		306
産後ケア事業		25
出産子育て応援事業	新規	350
はばたくあさひ応援金	新規	500
◇地域ぐるみで子どもを健やかに育む居場所を作る		
保育園等運営委託（あさひ保育園、子育て支援センター、放課後児童クラブ）		2億1,527
放課後子ども教室の実施		151
あさひ保育園未満児室増築	新規	7,000
あさひ保育園通園バス更新	新規	1,030
◇子どもや家庭を持つことの大切さを伝える		
すこやかあさひっこ祝品／祝金		370
未満児家庭保育応援金		300
◇結婚に向けた意識の醸成や出会いを増やして若者を応援する		
結婚支援事業（結婚新生活応援事業ほか）		322

(2) 学校教育

◇家庭・地域・学校が協働し、きらりとひかる学校・地域を作る		
朝日町コミュニティスクールの推進		461
◇社会の変化に対応し、未来を拓く確かな力を持つ子どもを育てる		
小中学校給食費完全無償化	新規	2,335
学習生活指導員、読書活動推進員、部活動支援員の配置		2,471
中学生海外派遣事業（福島県ブリティッシュヒルズ）		151
小学校合同修学旅行外国語研修、中学生修学旅行外国語研修補助		134
デジタル教育の推進		308
◇安全安心な教育環境づくりを推進する		
宮宿小敷地北側整備工事	新規	418
朝日中教室改修工事（単学級対応）	新規	620

(3) 生涯学習（スポーツ・文化）

◇潤いのある生活を楽しむ生涯学習を推進する		
エコミュージアム推進事業		214
自治公民館の改修支援		339
創遊館の大規模改修（建築改修、舞台設備更新）		3,049
秋葉山交遊館高圧受変電設備改修	新規	1,600
◇心身の健康を育む生涯スポーツを推進する		
総合型地域スポーツクラブの運営		166

3. いつまでも健康に暮らせる、思いやり



朝日町立病院運営補助

3億 1,854 万円

財源…町の負担 3 億 1,854 万円（一般財源）

地域医療の拠点である町立病院の経営安定のため、国の基準に基づき、一般会計から病院事業会計へ補助を行います。

その内訳は医師派遣に要する経費や不採算地区病院の運営に要する経費など。費用の多くは地方交付税などで国が支援しています。

（担当：総務課 財務係）



健康増進計画策定

606 万円

財源…町の負担 606 万円（一般財源）

健康づくりへの意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を防ぐため、健康増進計画を策定します。事業期間は 12 年で、従来の保健事業に加えて食育・地産地消計画も盛り込む予定。文字通り健康増進分野の柱に据え、長期的な目線で事業を推進します。

（担当：健康福祉課 保健医療係）



高齢者生産活動センター多機能トイレ設置

500 万円

財源…町の借金 500 万円（過疎債）

太朗地区にある高齢者生産活動センター（いもがわ温泉）に多機能トイレを整備し、高齢者や障がい者、車いす利用者なども利用しやすい施設にします。

（担当：健康福祉課 福祉係）



地域福祉交流施設「すぽっと」の運営

150 万円

財源…町の負担 150 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）

町は高齢者等が地域のつながりの中で、気軽に集まって楽しく過ごすことができる活動を応援しています。本施設については、コロナの 5 類移行を機に、これまで制限していたカラオケ等の再開も検討しながら事業内容を充実させ、家の中にこもりがちになる高齢者等の居場所づくり、生きがいづくりを支援します。（担当：健康福祉課 福祉係）

あふれるまち【健康福祉】 総額 9億3,834万円

(1) 健康増進

(単位：万円)

◇健康づくりへの意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を防ぐ

心と身体の健康づくりの推進（各種健康教室、相談の実施）	2,123
病気の早期発見に向けた取り組み（各種検診の実施）	2,666
朝日町健康づくり応援事業（入浴施設利用補助）	230
公衆浴場燃料費高騰対策事業補助金	300

(2) 医療・福祉

◇充実した医療サービスが受けられる環境を整える

朝日町立病院運営補助（地域医療基盤の維持・強化）	3億 1,854
重度心身障がい児者医療給付事業	1,547

◇高齢者、障がい者等が居場所づくりや相談体制を通してお互いに支え合う

高齢者・障がい者の居場所づくり、生きがいづくり	2,192
障がい児通学、通所支援等	2,274
地域福祉交流施設「すばと」の運営	231
元気クラブ活動支援	136
高齢者生産活動センターの運営	767

◇高齢者、障がい者等が仕事を通して生きがいを持って暮らす

高齢者の就労の場の確保	145
-------------	-----

◇高齢者が安心して暮らせる町民ニーズに沿った介護環境を提供する

要介護1・2の認定者に対する紙おむつ支給事業	275
介護保険事業の円滑な運営	1億 9,872



新型コロナワクチン接種を実施します

国の特例臨時接種制度が令和6年3月31日まで延長となり、令和5年度についても自己負担なしで接種ができます。以下、3月末時点の情報です。

2022年度		2023年度	
		5月8日～8月	9月以降
12歳以上	令和4年 オミクロン対応 2価ワクチン	令和5年春開始接種(オミクロン株対応2価ワクチン) 初回接種(1・2回目接種)終了した以下の方が対象 ・高齢者(65歳以上)・基礎疾患を有する方(12～64歳)・医療従事者等 → 上記以外の方	令和5年 秋開始接種 初回接種(1・2回目接種)終了した5歳以上のすべての方が対象
5～11歳		・基礎疾患を有する方(5～11歳) (オミクロン対応2価ワクチン) 追加接種(オミクロン対応2価ワクチン)	
初回接種	・12歳以上の方 ・5～11歳の方 ・6カ月以上～4歳の方		従来型ワクチンによる接種

今後、詳細がわかり次第、追って情報をお知らせいたします。 問合せ先 健康福祉課保健医療係 電話 67-2116

4. 豊かな自然を守り、安全で快適な住み



町道の新設改良（一本松線、赤釜線、大町・西原線ほか） 9,140 万円

財源…国の補助 2,069 万円、町の借金 5,760 万円（過疎債等）、町の負担 1,311 万円

町道整備のうち、令和 5 年度は一本松線の新設、赤釜線の改良、大町・西原線の歩道設置、西町線の側溝整備等に重点的に取り組めます。このうち、一本松線、赤釜線については令和 5 年度に完成となります。

（担当：建設水道課 整備係）



空家の利活用と適正管理 1,455 万円

財源…国の補助 168 万円、町の負担 1,287 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金 625 万円、一般財源 662 万円）

年々深刻化する空家対策として、空家バンクや改修補助金等で利用を促進するほか、空家解体補助を通じ、利活用と適正管理を推進します。空家バンクの運営業務は、町外からの移住相談窓口も兼ねた業務として令和元年度から町内の民間事業者に委託しています。

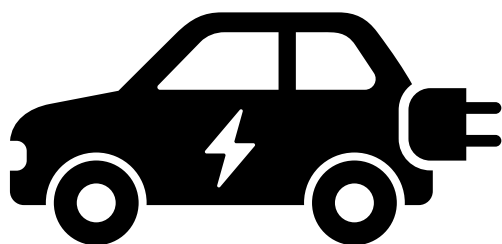
（担当：総務課 危機管理環境係／建設水道課 整備係）



環境基本計画中間見直し 1,100 万円

財源…国の補助金 562 万円、町の負担 538 万円

多発する大規模災害を受け、「脱炭素化」を合言葉にした環境事業が強化される中、10 年計画の中間見直しを行います。これまで別々だった「環境基本計画」と「地球温暖化防止実行計画（区域施策編・事務事業編）」を合わせた内容とする予定。環境分野の柱に据え、長期的な目線で事業を推進します。（担当：総務課 危機管理環境係）



（公用車）電気自動車導入事業 450 万円

財源…町の借金 400 万円（脱炭素化推進事業債 400 万円）、一般財源 50 万円

脱炭素化社会推進のため、町の公用車に電気自動車 1 台を導入します。

（担当：総務課 財務係）

よいまち【生活環境】

総額 5億8,276万円

(1) 住まい

(単位：万円)

◇住みやすく多様な住環境整備のための支援を行う	
持家住宅支援事業	3,285
みなみハイツ電気温水器更新	500
◇空家の利活用と適正管理	
空家の利活用を促進する報償金・補助金、空家解体補助、空家バンクの運営委託	1,455

(2) 交通

◇子どもから高齢者まで便利に出かけられる交通手段を充実する	
山形市直行バス運行事業	1,392
デマンド型交通事業	2,181
町民の足確保対策（高校生・高齢者の山交バス利用負担軽減、利便性アップ等）	880
◇道路環境の整備等により安全安心な交通環境をつくる	
交通安全の推進（高齢者免許返納助成、カーブミラー設置等）	100
町道の新設改良（一本松線、赤釜線、大町西原線ほか）	9,140
舗装修繕計画に基づく修繕（大谷真中線ほか）	5,240
町道の災害復旧（水口前田線、白倉線、荒沢線ほか）	7,948

(3) 環境

◇環境に対する意識を高めて、きれいな水と空気と緑を守る	
合併処理浄化槽の設置による水環境の保全	844
豊かな森林環境を守る取り組み	300
猫の不妊・去勢手術費補助金	20
電気自動車購入補助	新規 50
空気神社周辺 無光害 LED 化工事	新規 100
◇自然エネルギーの導入促進による資源の有効利用を推進する	
太陽光発電設備、木質バイオマス燃焼機器導入補助	110

(4) 防災

◇安心して暮らせる地域の防災体制を構築する	
消火栓設置工事	900
消防団員の待遇改善（団員報酬・出勤手当引き上げ）	新規 460
◇災害に備える基盤整備を進める	
耐震性貯水槽整備（栄町）、ホース乾燥柱整備（1-1）	新規 2,000
小型動力ポンプ付軽4輪積載車整備	新規 600
◇地域が協力し、雪を苦にしないで暮らす	
地域活躍応援事業（雪対策等）	600
地域安全克雪方針策定業務	新規 500
除雪機購入補助	新規 300

5. 地域を思う一人ひとりがつながり、みんなで



地域づくりを話し合う場の確保と集落支援員等の配置 741 万円

財源…町の負担 741 万円（一般財源）

町内 55 集落、55 色の地域づくりを支援するため、集落支援員を配置します。地域づくりの第一歩は、そこに住む人たちの話し合いから。支援員とともに地域の魅力や悩み等を話し合うことで長所を伸ばすとともに短所を補う糸口を探り、地域づくりを支援します。

（担当：政策推進課 地域振興係）



地域活躍応援事業

1,780 万円

財源…町の負担 1,780 万円（一般財源）

地域の創意と工夫を活かした自治活動（雪対策、草対策含む）を交付金等で応援します。

令和 3 年度から世帯数の要件を緩和し、小規模集落の整備事業補助率を引き上げています。

（担当：政策推進課 地域振興係）



基金を活用した事業（古民家マルシェ「すんたく市」）

志藤六郎村おこし基金事業

245 万円

財源…町の負担 245 万円（志藤六郎村おこし基金及び利子 241 万円、一般財源 4 万円）

町内栗木沢出身の名誉町民・故志藤六郎氏から、平成 4 年にいただいた寄付金（1 億円）を原資として積み立てた基金を有効活用し、町を元気にする多様な取り組みについて、ハード、ソフト両面から支援します。

（担当：政策推進課 地域振興係）



定住、U/I ターン対策

663 万円

財源…県の補助金 80 万円、町の負担 562 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金 200 万円、一般財源 362 万円）、その他 21 万円

交流人口、関係人口、定住人口を増やすため、「移住者引っ越し費用補助金」等を継続します。新たな施策に関する情報発信や移住希望者のコーディネートは、地域おこし協力隊の「移住交流推進員」「つながり創出推進員」が担い、移住促進策を多方面から展開します。

（担当：政策推進課 地域振興係・総合政策係）

支え合うまち【地域づくり】

総額 7,555万円

(1) 地区づくり活動

◇地区の強みと弱みを分析し、地区の役割を明確にする地域づくり推進事業		
地域づくりを話し合う場の確保と集落支援員等の配置	増額	741
大谷地区まちづくり推進員の配置	新規	936
◇地域の意欲を後押しする財政支援を行う		
地域活躍応援事業		1,780
◇地区同士の連携を推進する		
区の枠組みを超えた地域づくりに対する補助		30

(2) まちのにぎわい・元気づくり

◇移住を受け入れる環境を作り、地区の活力を高める		
朝日町暮らし体験施設「松本亭」を核とした関係人口の創出	増額	1,496
新たな定住、UIJ ターン対策（朝日町暮らし体験補助、若者移住・定住支援事業など）		774
同窓会助成事業		20
古民家を活用したにぎわい創出事業	新規	60

まちのにぎわい・元気づくりを担う助っ人たち

まちのにぎわい、元気づくりを進めるにあたり、町は様々な分野に特化した「助っ人」を委嘱しています。各分野の専門家が相互に連携しながら、地域づくりや移住・交流、情報発信等の業務に従事。令和5年度の人員、役割等については以下のとおりです。

■集落支援員 鈴木 紗織氏、ほか1名募集中

地区の現状を把握した上で課題を整理し、自治活動を進めるための計画策定の手助けを担う。

■にぎわい創出推進員 今野 颯氏、ほか1名募集中

ゲストハウス松本亭―農舎（常盤）の管理・運営を担うとともに、隊員独自の技能を生かしたイベント開催を通じて、にぎわいづくりに取り組む。また、松本亭利用者との交流による町の活性化を図る。

■つながり創出推進員

田岡 知暁氏

町に来訪したい関係人口の獲得と案内、企画立案を担当。来訪に特化した発信と案内役を担い、町に来訪を希望し、滞在する人の獲得を行う。

■大谷地区まちづくり推進員 頼實 孝明氏（5/1着任）、ほか1名募集中

地域課題の解決、伝統・文化の伝承等を目的に配置。地域活動への参画やイベントの企画・運営、地域の魅力発信等を担い、活性化を支援する。

■空気のふるさと推進員 1名募集中

空気神社など、町ならではの環境を活かしたまちづくりの推進にむけて、環境関係の全国大会や、町民皆さんの環境意識醸成に関する業務を担う。



■町民と行政が相互に信頼できるまち



DX の総合的な推進 40 万円

財源…町の負担 40 万円（一般財源）

コロナ禍による社会変革を経て、国は今後デジタルの力で、少子高齢化、過疎化、防災・減災対策等、社会課題の解決に活用していくこととしています。いわゆる DX（デジタルトランスフォーメーション）です。町は昨年度に引き続きDX推進アドバイザー委嘱し、今後の各種事業の軸となるDX推進計画を策定します。（担当：政策推進課 広報ブランド係）

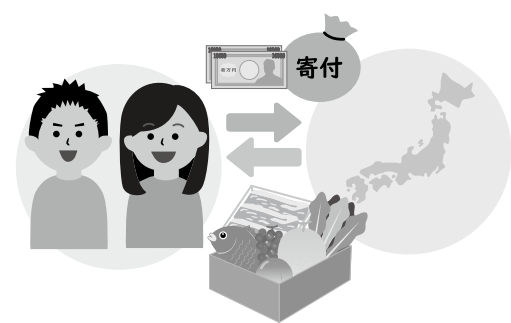


町有林調査 150 万円

財源…町の負担 150 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）

町有林については、昭和 30 年代から 40 年代にかけて植林されたものが多く、すでに 60 年程度経過しています。

これまで伐採に至ったことはないものの、地域によっては伐期を迎えていることが想定されることから、生育状況や今後の利活用の可能性等について、調査を行います。（担当：総務課 財務係）



ふるさと納税

町はふるさと納税でいただいた寄付金を「日本一りんごのふるさとづくり基金」に積立て、次年度以降の事業の財源として活用しています。寄付受入額と事業充当額の推移は次のとおりです。

（担当：政策推進課 広報ブランド係）

■寄付金額（基金積立額）と取崩し額、年度末残高の推移（単位：万円）

	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5
寄付金額（基金積立額）	9,716	9,724	9,778	1 億 3,627	1 億 3,067	1 億 645	1 億 3,209	1 億 4,000
事業充当額（取崩し額）	5,700	8,103	8,519	8,973	1 億 3,300	1 億 4,400	1 億 3,000	1 億 4,000
年度末残高	1 億 2,536	1 億 4,157	1 億 5,416	2 億 70	1 億 9,837	1 億 6,082	1 億 6,291	1 億 6,291

※年度末残高＝前年度末残高＋寄付金額（基金積立額）－事業充当額（取崩額）、R4～R5 年度は見込額、ほかは決算額。

【まちの経営方針】

総額 5億1,471万円

(1) 町民と行政の協働

◇町民が主役となり、温かみのある行政運営を行なう		
町民に親しみをもたれる役場づくりプロジェクト	増額	1,486
◇地域で活動する人材を育成する		
つながりで育てる人材育成プロジェクト		180

(2) 行財政経営

◇歳入の確保と効率的な歳出執行を推進する		
役場庁舎長寿命化改修	増額	2億 1,200
旧今井邸改修（実施設計）	新規	300
町有林調査	新規	150
ふるさと納税推進事業		2億 2,824

(3) 高度情報化・広聴

◇情報発信などに新たな技術等を活用し、暮らしを便利にする		
DX の総合的な推進（アドバイザー委嘱、視察研修等）		40
マイナンバーカードを活用した戸籍・住民票・税証明等交付事業	新規	40
庶務管理システムの導入	新規	106

令和5年度基金活用事業

総額 1億4,000万円

朝日町のふるさと納税は使い道を6種類のメニューから選ぶことができます。いただいた寄付金を元にして令和5年度取り組む事業の総額は1億4,000万円。その一例を紹介いたします。

◆りんごとワインの里の産業・観光	3,300万円
・認定農業者農機具等支援事業	250万円
・創業支援事業	400万円
・空気神社ライトアップ事業	640万円

◆ふるさとを愛し学び合う暮らし	2,184万円
・宮宿谷地間路線バス利用補助	270万円
・全国大会等激励金、部活動補助	180万円
・未満児家庭保育応援金	300万円

◆思いやりあふれる健康な暮らし	1,296万円
・朝日町健康づくり応援事業	230万円
・高齢者生産活動センターの運営	767万円
・金婚式、白寿、米寿等敬老事業	150万円

◆自然と共生する安心な暮らし	538万円
・自主防災施設整備事業補助	158万円
・再生可能エネルギー推進事業	110万円
・高齢者等免許返納事業	60万円

◆つながりを大切にしたい地域づくり	519万円
・NEWアクション事業補助金	180万円
・自治公民館整備事業補助	399万円

◆町長にお任せ事業	6,157万円
・産業立地促進奨励金	852万円
・ミズノ株式会社とのまちづくり提携	578万円

予算・決算等資料

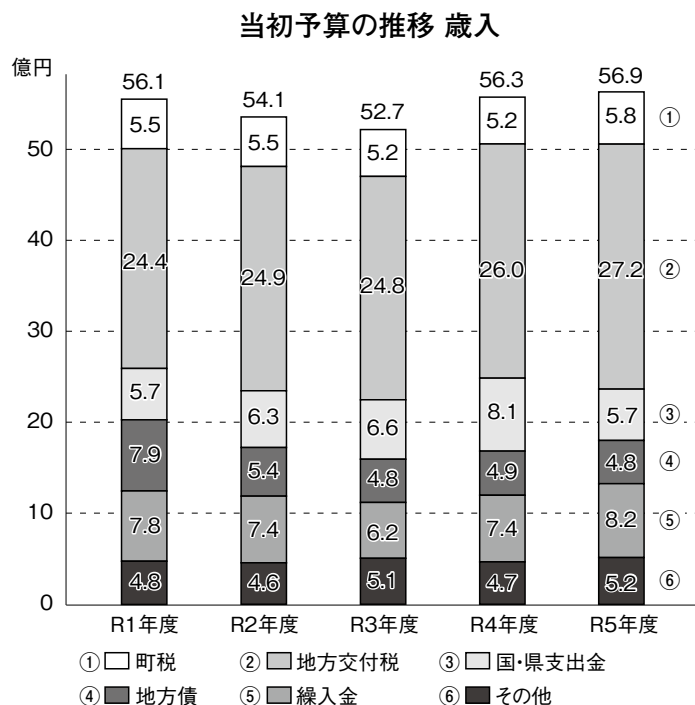
一般会計予算額（決算額）の推移

1. 一般会計当初予算の推移・概要

○令和5年度予算規模 **56億9,000万円**
(前年度比較6,000万円、1.1%の増)

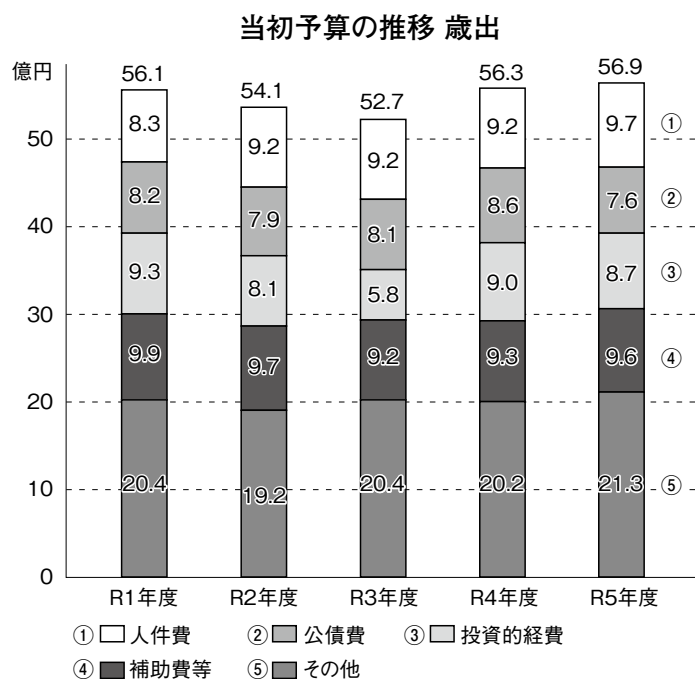
(1) 歳入の特徴

- ①町税：朝日川第一発電所のリニューアルに伴う県企業局分市町村交付金の増
- ②地方交付税：地域デジタル社会推進費、物価高騰対策等
- ③国県支出金：公共土木災害復旧事業負担金（町道今平大船木線分）の減
- ④地方債：前年度と同水準
- ⑤繰入金：庁舎大規模改修に伴う町有施設整備管理基金からの取崩金の増
- ⑥その他：ふるさと納税寄付金の増



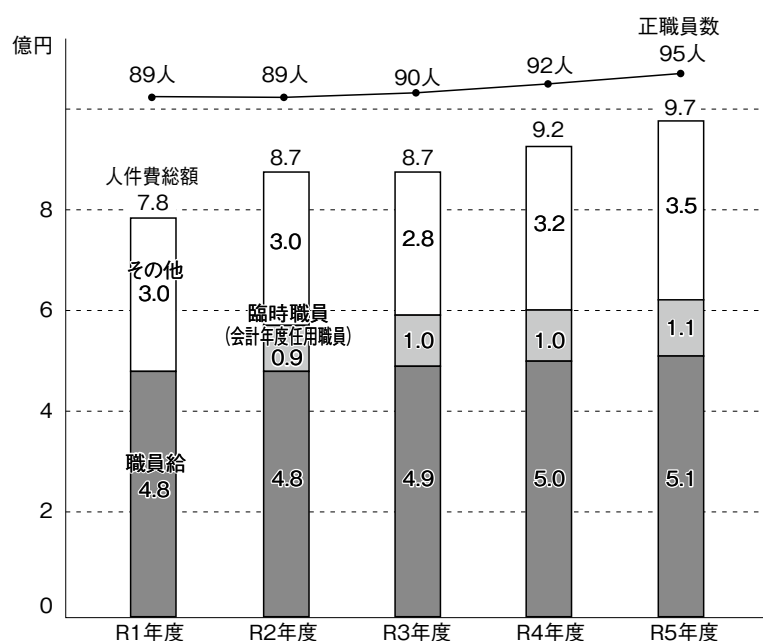
(2) 歳出の特徴

- ①人件費：再任用職員の増、人事院勧告による職員給の増
- ②公債費：役場庁舎耐震化等大型事業の償還終了に伴う減
- ③投資的経費：
 - 【増要因】庁舎長寿命化改修、あさひ保育園未満児室増築 ほか
 - 【減要因】創遊館大規模改修、町道今平大船木線災害復旧 ほか
- ④補助費等：小中学校給食費完全無償化等による増
- ⑤その他：日本一りんごのふるさとづくり基金積立金の増 ほか



※人件費について、令和2年度からの大幅増は国の制度改正により、これまで物件費に計上していた臨時職員（会計年度任用職員）の給与を人件費に計上替えたことが要因です。

2. 人件費、職員給、職員数の状況



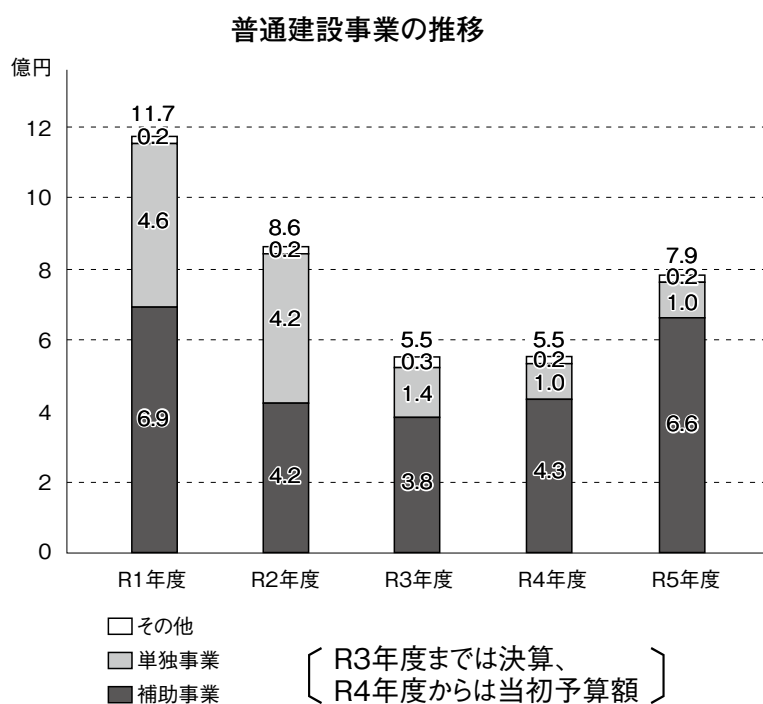
職員数については、ここ5年間、ほぼ横ばいとなっています。

職員給について令和2年度からの大幅増は国の制度改正により、これまで物件費に計上していた臨時職員（会計年度任用職員）の給与を人件費に計上替えしたことが要因です。

※正職員数には再任用職員（フルタイム）を含む

〔 R3年度までは決算、
R4年度からは当初予算額
職員数は各年度予算書より 〕

3. 普通建設事業（公共事業）の状況

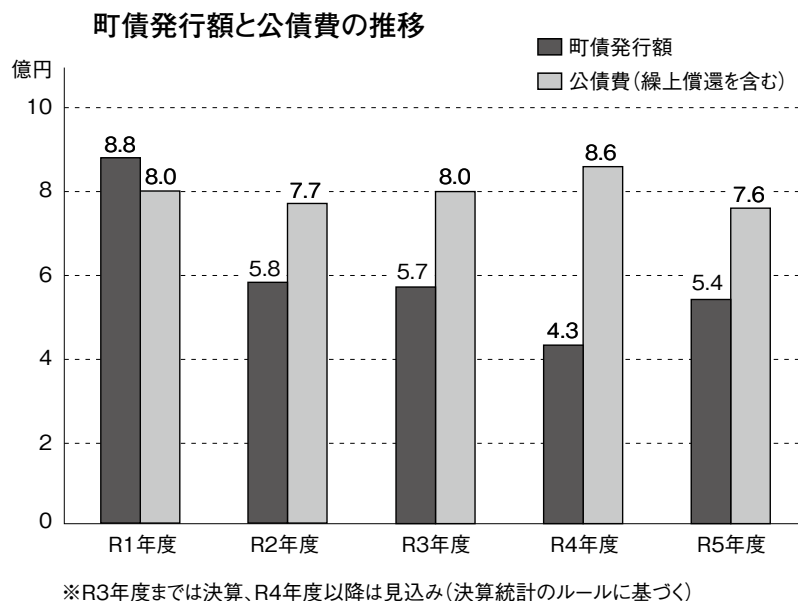


年度によってかなりばらつきはあるものの、平均すると7億円台となっています。令和元年度は小中学校エアコン整備事業や創遊館の大規模改修（空調設備）等を実施したことから事業費が膨らんでいます。

【令和5年度の主な事業】

- ・庁舎長寿命化改修事業 2億1,200万円
- ・あさひ保育園未満児室整備事業 7,000万円
- ・Asahi自然観スノーパーク圧雪車更新事業 5,000万円
- ・町道朝日線のぞくら橋修繕事業 6,800万円

4. 町債発行額と公債費の推移



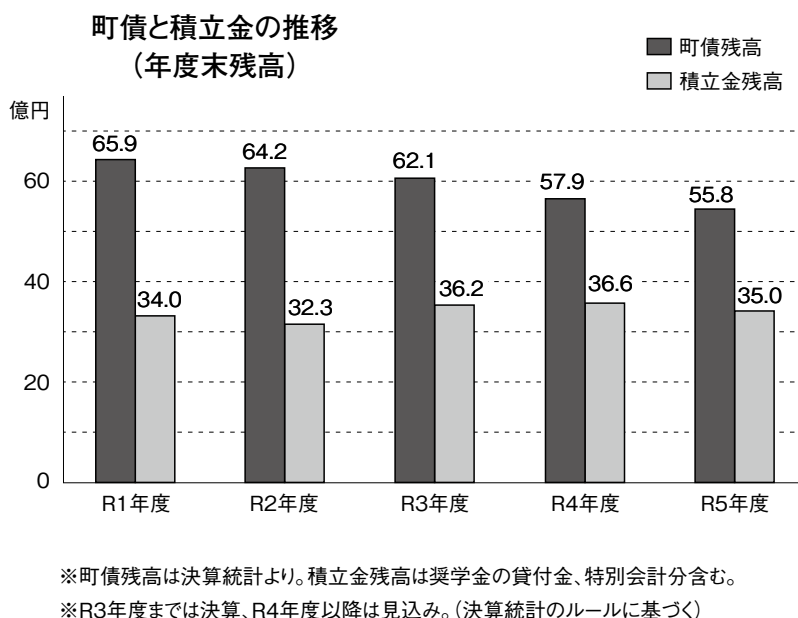
■町債発行額

町債は小中学校エアコン整備事業や創遊館大規模改修等を実施した令和元年度の発行額が多くなっています。令和2年度以降は5億円前後となっており、発行額を抑制できています。

■公債費

あさひ保育園や小学校体育館改築、役場庁舎の耐震化等、平成20年以降の大型建設事業で借り入れた町債の償還により、平成25年度から右肩上がりで増加していましたが、令和4年度をピークに減少に転じています。ただし、その程度はゆるやかで、今後も5年程度は7億円台で推移する見通しです。

5. 町債残高と積立金残高の状況



■町債(町の借金)

令和元年度頃まで65億円程度で高止まりしていましたが、2年度以降は町債発行額の大幅抑制により、段階的に減少しています。学校や観光施設の整備・改修等、今後見込まれる事業に備え、さらなる圧縮に努めます。

■積立金(町の貯金)

財政調整基金や町有施設整備・管理基金また、ふるさと納税を原資とする日本一りんごのふるさとづくり基金等を適宜取り崩しながら町政運営にあたっています。

【令和5年度の主な基金活用事業】

- (1) 町有施設整備・管理基金
 - ・役場庁舎長寿命化改修事業 1億5,200万円
 - ・創遊館大規模改修事業 3,049万円
- (2) 日本一りんごのふるさとづくり基金
 - ・小中学校給食費完全無償化事業 2,335万円
 - ・産業立地促進奨励金 852万円
 - ・ミズノ株式会社とのまちづくり提携事業 578万円

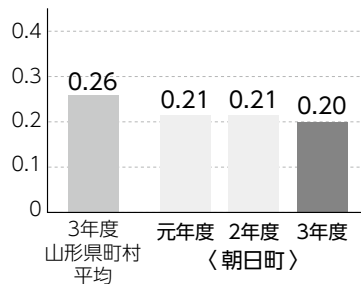
6. 財政指標で見る町の財政状況（令和3年度決算より）

町の財政状況は健全化判断比率※をはじめとした様々な指標により客観的に分析することができます。こうした指標を過去3年間の推移や県内町村との比較で分析します。

😊 … 良い
😞 … 良くない

■ 財政力指数（自前の収入でやりくりできるか）

他自治体と比較して、当町は必要な経費を自主財源で賄える割合が低いことがわかります。町民税や固定資産税等の町税収入が少ないことが主な要因です。

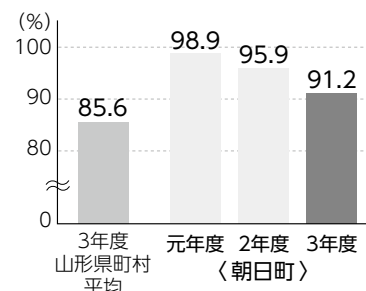


自治体経営に必要なお金を実際の収入で割った値（3カ年の平均値）で、数値が大きいほど余裕がある。



■ 経常収支比率（自由に使えるお金があるか）

2年連続で大きく改善しました。自由に使えるお金として算定される地方交付税の交付額が大幅増になったことが主な要因です。

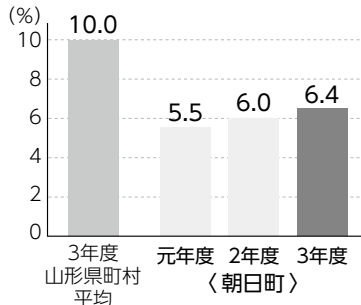


毎年度ある収入に対して、必ず行う支出の割合を示したものの。数値が低いほど柔軟に事業に対応できる。



■ 実質公債費比率（借金返済に窮していないか）

6年連続の上昇となったものの、良好な水準を維持しています。借金返済費用の一部が地方交付税に算入される制度を有効活用しているためです。

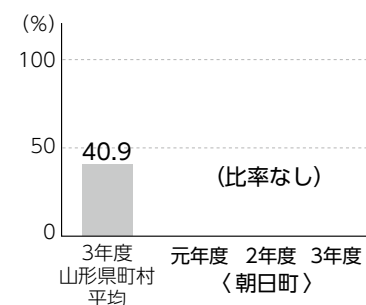


一般会計の公債費（借金返済費用）が重すぎないかを見る指標。3カ年の平均値で算定。数値が低いほど良好。



■ 将来負担比率（将来世代にツケを先延ばしにしていないか）

前年度に続き、比率はありません。借金等の将来負担額よりも貯金や将来地方交付税として算入が見込まれる金額の方が多いためです。



一般会計の町債（借金）や、将来支払う可能性のある他会計負担金の程度を指標化したもの。数値が低いほど良好。



※健全化判断比率… 実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4指標の総称。公営企業の経営健全度を表す資金不足比率とともに、毎年議会への報告と公表が義務付けられています。
健全化判断比率のうち、実質赤字比率、連結実質赤字比率については県内すべての市町村で比率がありません。

まとめと 今後の取り組み

道の駅整備や小中学校空調設備整備事業など近年の大型事業により公債費（借金返済費用）が増え、実質公債費比率の上昇、経常収支比率の高止まりにつながっています。

今後も、観光施設や役場庁舎等、主要公共施設の大規模改修が見込まれます。その実施に当たっては、各種基金の有効活用等で町債発行を抑制しながら健全財政の維持に努めていきます。

令和5年度 朝日町予算説明書

山 形 県 朝 日 町